

衆議院環境委員会ニュース

平成 27.3.24 第 189 回国会第 2 号

3月24日（火）、第2回の委員会が開かれました。

1 環境の基本施策に関する件

- ・望月環境大臣、北村環境副大臣、小里環境副大臣、高橋環境大臣政務官、福山環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

堀 井 学君（自民）

- ・公害対策の分野において優れた技術を持つ我が国の企業が、問題を抱える国で貢献できるよう、環境省が先頭に立って国家間での連携を進めていくべきと考えるが、環境省の見解を伺いたい。
- ・水素社会の実現に向けて、環境省としてどのように取り組んでいくつもりなのか伺いたい。また、地方創生にもつながる全国的な水素ステーションの普及をどのように進めていくつもりなのか、併せて伺いたい。
- ・本年5月に施行される改正鳥獣保護管理法によって、特定希少鳥獣管理計画制度が導入される。希少鳥獣でありながら特定の地域で被害を生じさせているゼニガタアザラシについて、環境省が同計画を策定し、率先して対策を進めていくべきと考えるが、環境省の方針を伺いたい。

真 山 祐 一君（公明）

- ・中間貯蔵施設の建設に当たり、その用地の地権者一人一人に対して丁寧で誠実な対応をすべきと考えるが、望月環境大臣の所見を伺いたい。
- ・帰還困難区域の一部において除染モデル実証事業が行われているが、除染をさらに進めていくべきとの考えに対する小里環境副大臣の見解を伺いたい。
- ・持続可能なエネルギー社会を実現するため、自然エネルギーの導入に要する手続きを簡略化する必要があると考えるが、高橋大臣政務官の見解を伺いたい。